



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

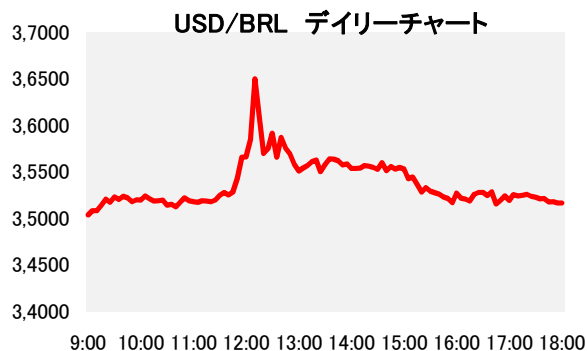
## 1. マーケット・レート

			5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月9日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,5580	3,5490	3,5340	3,5010	3,5160	+0,0150
	BRL/JPY	Spot	29,96	30,16	30,33	30,56	30,80	+0,24
	EUR/USD	Spot	1,1496	1,1486	1,1404	1,1405	1,1381	-0,0024
	USD/JPY	Spot	106,65	107,01	107,26	107,12	108,35	+1,23
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,886	13,887	13,891	13,904	13,900	-0,004
	Future	1Year(p.a.)	13,261	13,264	13,283	13,300	13,343	+0,043
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,278	2,242	2,294	2,338	2,346	+0,008
	USD	1Year(p.a.)	2,494	2,495	2,577	2,614	2,670	+0,056
株式	Bovespa指数	52.260	52.553	51.671	51.718	50.990	-728	
CDS	CDS Brazil 5y	344,94	344,71	346,84	339,35	347,55	+8,20	
商品	CRB指数	179,844	179,872	178,925	179,910	177,035	-2,88	

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

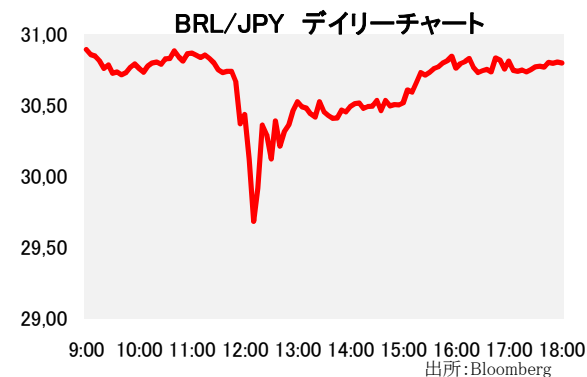
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.66%	0.64%	0.49%
貿易収支(週次)	--	\$1233M	\$1278m
(米)労働市場情勢指数	-1.0	-0.9	-2.1



## 3. 要人コメント

カリエイリョス 伯上院議長	(マラニョン下院議長が下院での弾劾手続き投票の取り消し依頼を承諾したことに対して) 下院議長の判決は認めない、上院で弾劾手続きは決行する。
------------------	---



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.4960で寄り付いた後、直ぐさま本日の高値となる3.4930を付けた。しかし伯中銀によるドル買い介入は見られなかった一方で、中国の貿易統計が予想に反して弱かったほか、WTI先物価格が2週間振りの安値を付けたことがリスクオフモードをもたらすとレアルはじりじりと3.52台前半まで売られた。
- 更に国内ではクーニャの職務停止後に下院議長として役職に就いたマラニョン氏が下院でルセフ大統領弾劾手続きの下院投票を無効にする申請を承諾した報道が市場で大きく嫌気し、レアルは本日の安値となる3.6700まで急落した。下院議長としての決断がどこまで有効であるか疑問が残る中、カリエイリョス上院議長は下院議長の決断を認めないとコメントしており、下院内でも議長に対する圧力が見られたことからレアルはじりじりと買い戻される展開となり、結局3.5160でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が-3.89%から-3.86%に上方修正、2017年予想は+0.40%から+0.50%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は6.94%から7.00%に上方修正に転じた。2016年末の予想為替レートは3.72から3.70にレアル高方向へ修正された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。